

都市再生整備計画

おおがき し ちゅうしんきょてん おおおがき こうえん しゅうへん ち く
大垣市中心拠点大垣公園周辺地区

ぎ ふ 県 おおおがき し
岐阜県 大垣市

令和7年4月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	岐阜県	市町村名	おがきし 大垣市	地区名	おがきしちゆうしんぼてんおがきこうえんしゆうへんちく 大垣市中心拠点大垣公園周辺地区	面積	129.3	ha
計画期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	
交付期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	

目標
大目標：大垣地域の中心市街地にふさわしい希望があふれ活力ある中心拠点の創造 目標1：歴史をつなぎ、「やすらぎ」と「にぎわい」のあふれる交流拠点の創出 目標2：生涯いきいきとスポーツする健康なづくり拠点の創出 目標3：水都を感じる観光空間の創出による回遊性の向上
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 ○大垣市は、西濃圏域の中心都市として、大垣駅南部の市街地を中心に商業等の都市機能が集積してきたが、高速交通網(名神高速道路)の整備等に伴い市南部地域に市街地が拡大した。 ○また、自動車の普及により、生産機能の立地、良好な居住環境を求めて居住地移転、人口の増大に伴う新規住宅地の開発が郊外部において進み、市街地が拡大されてきた。 ○今後、急激な人口減少が見込まれる上、郊外型の大型店の進出などにより、拡散した市街地のままで居住密度が低下すれば、一定の人口密度に支えられてきた医療、福祉、商業等の生活サービスの提供が困難になることが想定される。 ○更には、人口動態の変化に加え、道路や上下水等のインフラや公共施設の老朽化も進み、厳しい財政状況の中での対応が求められる中、持続可能な都市を継承していくためには、都心の中心地機能が活かされ、居住密度を維持しつつ、公共交通と連携したコンパクトなまちづくりを進めていく必要がある。 ○こうした中、平成30年4月に策定した大垣市立地適正化計画では、これらの課題に対応するため、中心市街地を含めた都市の中心拠点を再生し、その周辺などの8か所に設定した地域の生活拠点の維持を進めつつ、それらの拠点において、居住空間の再構築や災害に強い都市機能の充実を図る集中型都市を目指したまちづくりを推進することとした。 ○居住誘導区域においては、中心市街地の活性化に加え、子育て世帯を中心とした生産年齢世代の定住化に向け、空き家対策の実施も含めた住宅取得や転入費用支援などの居住空間整備のほか、道路整備など誘導施設等へのアクセス性の確保、住環境の向上や賑わい創出に向けた公園・緑地等の基盤整備施策を図り、都市機能誘導区域においては、居住誘導区域における取り組みの他、都市利便施設等を誘導する市街地再開発事業や公共施設の地震対策・防災能力の向上に資する施策を展開することで、緩やかな居住誘導を目指す。
まちづくりの経緯及び現状
○大垣市では、「大垣市未来ビジョン 第2期基本計画」(令和5年3月)において、中心市街地に位置する大垣公園とその周辺地域の再整備等の「希望あふれる活力あるまちづくり」を重点的に取り組むプロジェクトの一つに掲げている。 ○これを受けて改定した「大垣市中心市街地活性化計画」(令和5年8月)では、「みんながフクフク、元気なまち大垣」を基本方針とし、魅力ある市の中心市街地の形成に向け、「奥の細道むすびの地記念館」の整備をはじめ、大垣城の外堀である水門川沿いの観光ルート「四季の路」の整備など、観光・交流拠点の整備・活用法、公共空間におけるテラス席の設置や物品販売等を支援しつつ大垣公園や大垣駅通り等を利用したイベントを開催する「まちなかスクエアガーデン事業」や「まちなかテラス推進事業」、西美濃地域の企業による物販や展示、交流都市観光交流物産展等を行う、「大垣駅通りフェス事業」等の実施など、商業機能の再生による「にぎわいの創出」に向けた取り組みを進めてきた。 ○一方、本市は全国でも有数の自噴帯に位置しており、豊富な地下水の恵みにより古くから「水都」と呼ばれ、河間や堀抜井戸が湧き上がり、川ではハリヨが棲み、ホテルが飛び交うことで「水都」の風景を形作ってきた。 ○そのため、大垣の更なる魅力向上に向け、井戸舟やミストシャワーの整備事業、水門川舟下り事業や水辺空間における市民団体の活動支援事業等の実施、小中学校における、ふるさと大垣に関する授業「ふるさと大垣科」の実施による郷土への愛着・誇りの熟成など、「水を見る機会」、「水に触れる機会」を増やし、「水都を感じられる風景」の整備により、より一層、大垣のブランド力を高める「水都大垣再生プロジェクト」を重点的に取り組んでいる。 ○こうした中、長く市民の憩いの場となってきた市の中心部(中心拠点)に位置する大垣公園(明治13年開園)の再整備に向け、令和5年3月に「大垣公園等再整備基本構想」を策定した。 ○基本構想では、100年先も愛され続ける大垣のシンボルパークを基本理念とし、歴史・やすらぎ・にぎわいの溢れる公園整備を目指し、運動施設である大垣城ホルの改築や、子育て世代が集い、楽しく遊べる遊戯広場の充実や芝生広場の拡張を推進するとしている。 ○本都市再生整備計画は、大垣駅と奥の細道むすびの地記念館の中間地点に位置する大垣公園等の再整備を中心に、駅周辺における情報版や緑地等の地域生活基盤施設の整備、観光ルートである四季の路のリニューアルなど、中心都市機能の整備と観光交流や回遊性等の促進による地域活性化を推進するものであり、関係する事業者、住民、関係団体などの協力体制の基に、西濃圏域の中心都市として栄えてきた街なかの賑わいを再構築するものである。
・大垣公園等の再整備に伴い、大垣駅通り、大垣公園、丸の内公園、奥の細道むすびの地記念館などイベント開催エリアの拡大により同時分散型イベントが可能となり、今後歩行者数の増が見込まれるため、これに対応したゆとりある歩行者空間や情報発信機能の整備・充実が求められている。 ・中心拠点エリアの活性化向上に加え、緩やかな居住誘導に向けた、都市生活の魅力や利便性向上に向け、緑化・公園施設、道路施設等の充実が求められている。
将来ビジョン(中長期)
①大垣市未来ビジョン第2期基本計画(2023-2027)(平成5年度策定) ○みんなが住みやすいまち (都市空間の整備・活用)都市空間の整備・活用により、地域の特性にあわせた暮らしやすい環境が整った賑わいのあるまちの実現 ☆主な取り組み 市街地再開発の推進、歩きたくなるまちなかの形成 (公園・緑地の整備)地域に愛される公園や緑地の整備及び遊具等の長寿命化の推進 ☆主な取り組み 公園・緑地の整備、大垣城ホールを含めた大垣公園の再整備、公園プレーパークの推進 ○みんなが元気なまち (中心市街地の活性化)中心市街地におけるイベントの開催により、商店街の魅力向上の推進 ☆主な取り組み 商店街活性化の推進、空き店舗対策の推進 ○みんなが成長するまち (健全な心と体の育成)道徳教育、人権・同和教育、健康教育、学校体育、ふるさと教育等の充実 ☆主な取り組み 道徳、人権教育の充実、子どもの体力向上、ふるさと大垣科の充実 ②大垣市立地適正化計画(平成30年度策定、令和6年度一部改訂、目標年次：令和22年度) ○基本方針1 都市の中心部の再生 ・本市の中心部は戦災復興区画整理により道路等のインフラが整備され様々な都市機能が集積し、生活利便性の高い地区であることから、定住化を促進すると共に、必要となる都市機能の充実を図る ○基本方針3 居住空間の再構築 ・中心拠点や地域の生活拠点については、快適で利便性の高い居住空間の構築を図り、子育て世代を中心とした定住化を促進する。 ○基本方針4 災害に強い都市の形成 ・中心拠点や地域の生活拠点については、災害対応に必要な都市機能の充実を図る。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方							
・商業、医療福祉、行政、文化等の都市機能が集積し、生活利便性が高い都市の中心部を活かし再生するため、中心市街地を含むエリアを市の中心拠点と設定し、大垣駅を中心に放射状に運行される基幹的バス路線の沿道に、地域の生活拠点を設定する。							
・市の中心拠点は、本市が西濃圏域の中心都市である経緯から、大垣駅やバスターミナルといった公共交通の結節機能、店舗数は減少しているものの商店街を中心とした経済機能、市庁舎、文化施設（大垣城、郷土館、美術館等）、税務署、裁判所、観光施設（奥の細道むすびの地記念館）、大垣公園等の多くの公共公益機能を有しており、大垣城天守周辺の景観形成を維持しつつ、市民が愛着と誇りをもてる観光交流機能、歴史文化機能の充実を図る。							
・既成市街地外縁部の生活拠点においては、本市全体で見られる人口減少、高齢化の傾向が顕著な地域であるため、日常生活を支える福祉サービス機能、地域コミュニティ維持・発展を図る。							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
まちなか回遊性向上によるの歩行者・自転車通行量	人／日	中心市街地及び四季の路の歩行者・自転車通行量	大垣公園を中心として四季の路などの整備によりまちなかの回遊性を高めることで歩行者・自転車通行量が増加する。	11,304人／日	R6年度	12,000人／日	R11年度
まちなか空間を活用したイベントへの参加者数	人／年	中心市街地に位置する大垣公園とその周辺地域を活用したイベントへの参加者数	大垣公園を中心として四季の路などの整備によりその一帯で行われるイベントの賑わい創出を図り、イベント参加者数が増加する。	141,000人／年	R6年度	155,100人／年	R11年度
大垣公園の利用者数	人／10時間	大垣公園（7時から17時）の利用者数	魅力ある滞留空間及び子育て支援機能の創出によって公園利用者が増加する。	442人／10時間（休日）	R6年度	650人／10時間（休日）	R11年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【歴史をつなぎ、「やすらぎ」と「にぎわい」のあふれる交流拠点の創出】 ・大垣城が核となり「歴史」をつなぐと共に、市民が快適に利用できる「やすらぎ」と「にぎわい」のあふれる芝生広場、インクルーシブ遊具等の大垣公園の整備 ・エリアの一体的な快適性の創出に向けた四季の広場、船町公園等の整備		【基幹事業】 大垣公園再整備事業 【基幹事業】 四季の広場整備事業 【基幹事業】 船町公園整備事業
【生涯いきいきとスポーツする健康な人づくり拠点の創出】 ・大人の軽スポーツ、健康増進教室等をはじめとし、中心市街地の特性を活かしたイベント等の活用による多機能な交流拠点の整備		【基幹事業】 大垣公園再整備事業
【水都を感じる観光空間の創出による回遊性の向上】 ・水門川(大垣城旧外堀)と歩道空間が一体となった観光ルートの魅力的な演出 ・観光ルート沿いへの緑地整備による歩行者の利便性・まちの回遊性の向上		【基幹事業】 大垣駅南口トイレ改築事業 【基幹事業】 四季の路整備事業 【基幹事業】 まちなかサイン整備事業 【基幹事業】 まちなか道路再生事業 【基幹事業】 四季の路道路整備 【提案事業】 大垣公園等にぎわい創出事業 【提案事業】 事業効果分析事業
その他		
【その他官民協働の取り組み事例】 ・大垣商工会議所によるまちづくり指針「大垣駅南都心まちなみビジョン」の策定(平成28年3月) ・大垣駅南前地区市街地再開発準備組合の設立(令和4年11月) ・中心市街地の活性化のため、大垣市商店街振興組合連合会による大垣駅通り(メインストリート)アーケード、大垣公園、丸の内公園などを会場とした分散回遊型の「まちなかスクエアガーデン」の開催。(令和4年4月～、毎月1回(5・8・1・2月を除く)) ・都市再生推進法人「(一社)大垣タウンマネジメント」がイベント企画、開催支援 ・水辺空間を活用したまちづくりを行うため、市民活動団体との官民連携によるウォーカブルなまちなか(居心地がよく、歩きたくなるまちなか)の創出を図るイベント「水都大垣かわまちテラス」の開催 ・「ウォーカブル推進都市」に令和2年2月から参加 ・(一社)大垣タウンマネジメントを都市再生推進法人として令和5年9月に指定		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	2,938.2	交付限度額	1,469.1	国費率	0.5
---------	---------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業		事業箇所名	事業主体	直ノ間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費	費用便益比 B/C
	細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	うち官負担分			うち民負担分			
道路		郭清水1号線	大垣市	直	L=80m	8	11	8	11	20.0	20.0	20.0		8.0	—	
道路		高屋中1号線	大垣市	直	L=80m	8	11	8	11	20.0	20.0	20.0		8.0	—	
道路		見取丸の内1号線	大垣市	直	L=30m	11	11	11	11	6.0	6.0	6.0		1.0	—	
道路		郭町4号線	大垣市	直	L=65m	9	10	9	10	20.0	20.0	20.0		20.0	—	
道路		東外側伝馬1号線	大垣市	直	L=70m	7	7	7	7	8.4	8.4	8.4		8.4	—	
道路		東外側本1号線	大垣市	直	L=160m	8	8	8	8	12.8	12.8	12.8		12.8	—	
公園		大垣公園	大垣市	直	3.6ha	8	11	8	11	3,302.5	3,302.5	3,302.5		2,701.0	1.4	
公園		船町公園	大垣市	直	0.16ha	8	9	8	9	45.0	45.0	45.0		45.0	—	
古都保存・緑地保全等事業																
河川																
下水道																
駐車場有効利用システム																
地域生活基盤(情報板)		まちなかサイン整備	大垣市	直	新設 5基	7	7	7	7	10.0	10.0	10.0		10.0	—	
高質空間形成(歩行者・自転車・車・バス・タクシー・バス																

統合したB/Cを記入してください

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造 支援事業														
事業活用 調査	事業効果分析調査		大垣市	直	-	11	11	11	11	3.0	3.0	3.0	3.0	
まちづくり活 動推進事業	大垣公園賑わい創出事業	大垣公園	大垣市	直	-	11	11	11	11	5.0	5.0	5.0	5.0	
合計										8.0	8.0	8.0	0	8
居住誘導促進事業														
事業		事業箇所名	事業主体	直／間		(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
合計										0	0	0	0	0
													合計(A+B+C)	2,938.20

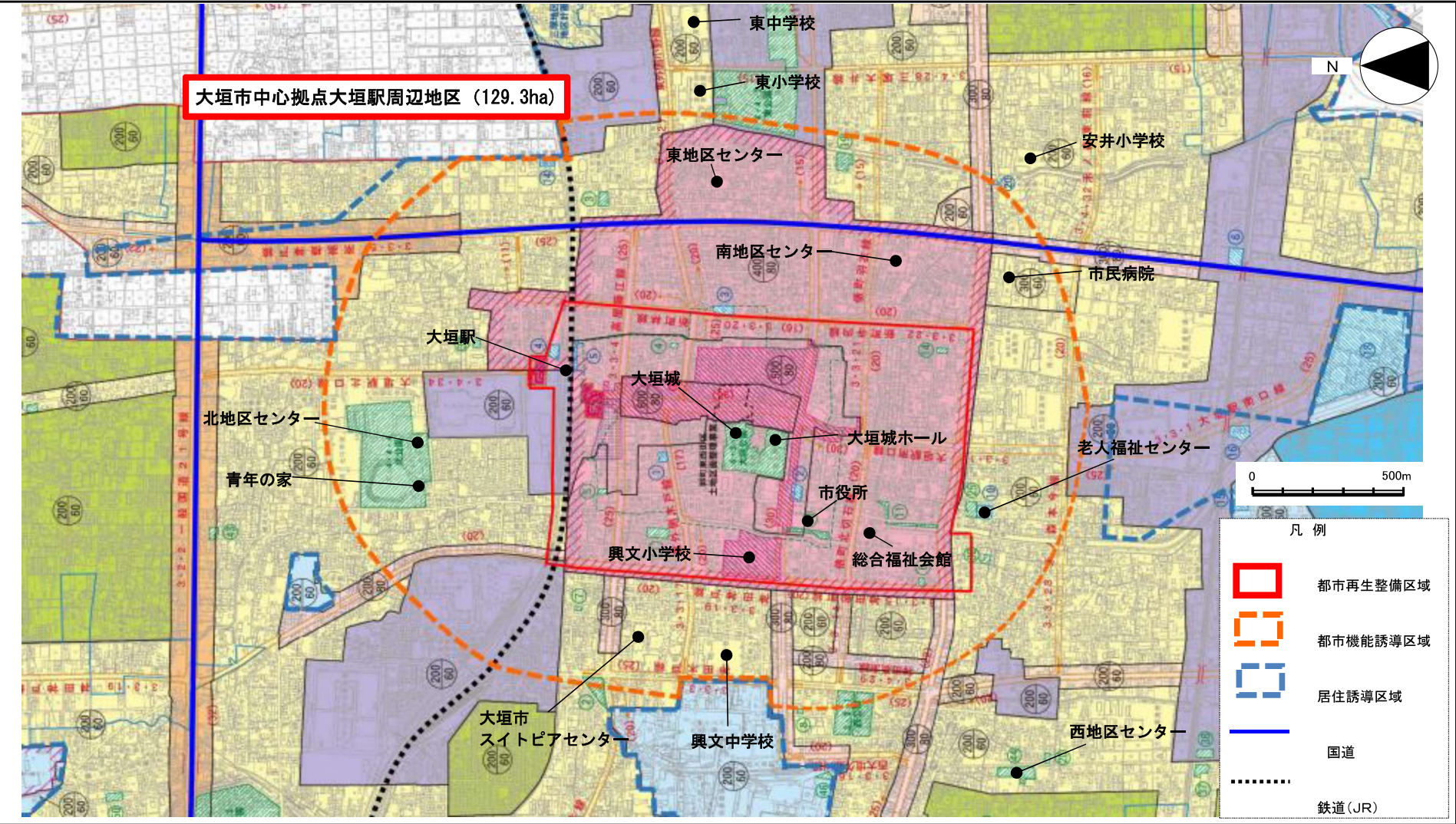
〔参考〕都市構造再編集中支援関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
					/	/	/	/			
					/	/	/	/			
合計					/	/	/	/			0

(参考) 関連事業

[illegible]

大垣市中心拠点大垣公園周辺地区(岐阜県大垣市)	面積	129.3 ha	区域	郭町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、丸の内1丁目、2丁目、西外側町1丁目、2丁目、馬場町、船町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、高屋町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、本町1丁目、中町、清水町、東外側町1丁目、2丁目、林町2丁目、4丁目、5丁目、6丁目、宮町1丁目、2丁目、桐ヶ崎町、室町1丁目、西外側町1丁目、俵町
-------------------------	----	----------	----	--



大垣市中心拠点大垣公園周辺地区(岐阜県大垣市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標:大垣地域の中心市街地にふさわしい希望があふれ活力ある中心拠点の創造 目標1:歴史をつなぎ、「やすらぎ」と「にぎわい」のあふれる交流拠点の創出 目標2:生涯いきいきとスポーツする健康な人づくり拠点の創出 目標3:水都を感じる観光空間の創出による回遊性の向上	代表的な指標	まちなか回遊性向上による歩行者・自転車通行量 (人/日)	11,304人/日 (R6年度) → 12,000人/日 (R11年度)
			まちなか空間を活用したイベントへの参加者数 (人/年)	141,000人/年 (R6年度) → 155,100人/年 (R11年度)
			大垣公園の利用者数 (人/10時間)	442人/10時間(休日) (R6年度) → 650人/10時間(休日) (R11年度)

